

(6) 陸前高田市の子どもたちへのメッセージの送付

○子ども議長

次に、「陸前高田市の子どもたちへのメッセージの送付」を議題に^{きょう}供します。

今から3年前、多くの大切なものを^{うば}奪っていった東日本大震災。^{だいしんさい}
あのときから、^{わたし}私たちと陸前高田市との交流は始まりました。

東日本大震災^{だいしんさい}で失われたものを取り戻す^{もど}ことはできないかもしれません。

しかし、それによって生まれ、続けてきた^{わたし}私たちの交流は、これからも失うことなく、ずっと大切にしていけることができると信じています。

陸前高田市の皆さん、笑顔で心をつな^{みな}ぎにして前を向いて進みましょう。
そうした思いをもって、^{わたし}私たち一人一人が書いた陸前高田市の小学生の^{みな}皆さんへのメッセージがお手元に配付してあります。

それでは、お諮り^{はか}いたします。

^{わたし}私たちの思いのつまったこのメッセージを、前回の子ども市会^{さいたく}で採択された「名古屋市と陸前高田市の子どもたちとの交流に関する宣言^{せんげん}」に^{もと}基づき、陸前高田市へ送ることに賛成^{さんせい}の方は拍手^{はくしゅ}をお願いいたします。

〔全員の拍手^{はくしゅ}〕



○子ども議長

全員賛成と認めます。

よって、お手元のメッセージは、全会一致により陸前高田市へ送付することに決しました。

陸前高田市のみなさんへ



平成 26 年度 なごや子ども市会

📁 メッセージをまとめた冊子